

第 5 章 運営の終了

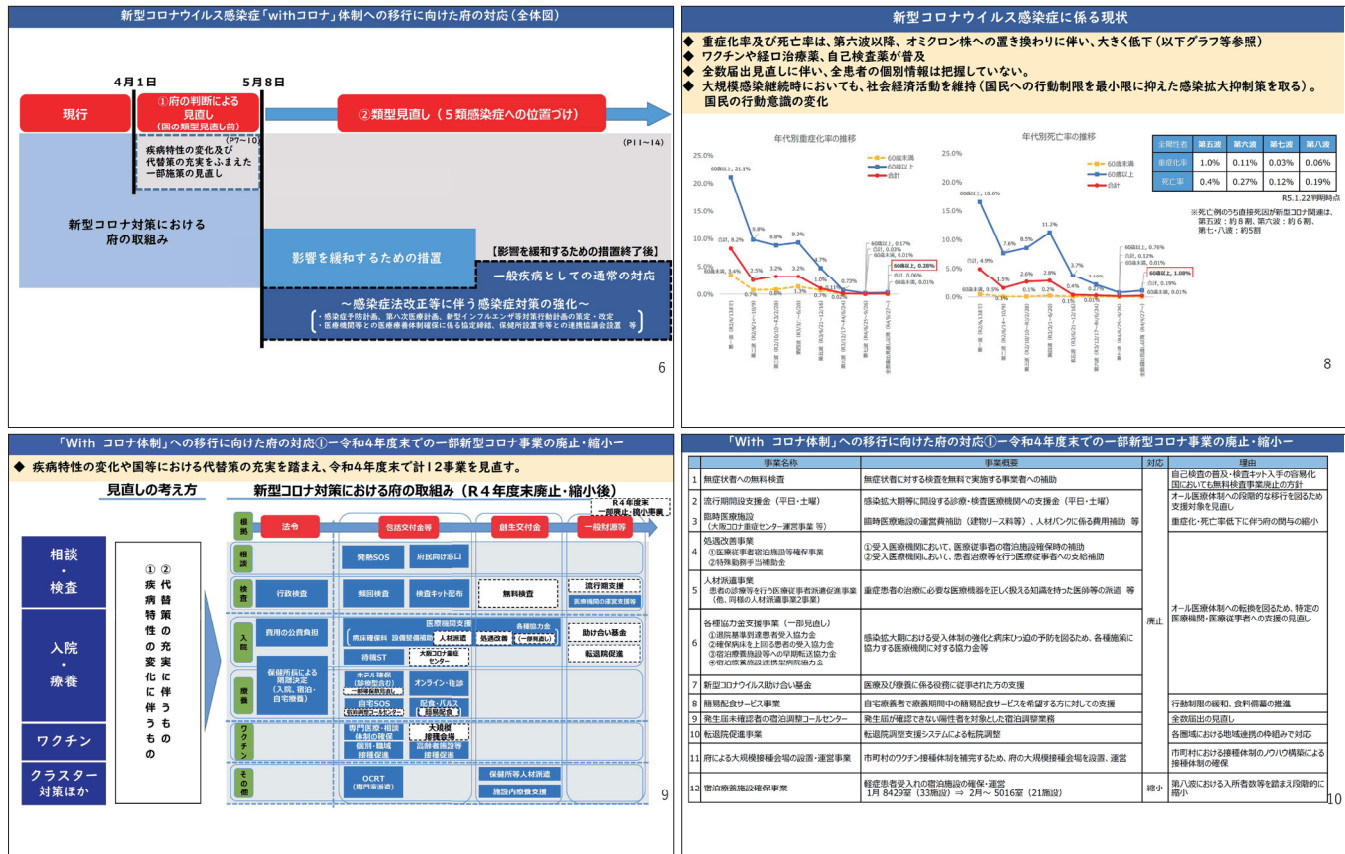
第 1 節	終了の決定	110
第 2 節	撤去・原状復旧工事	111
第 3 節	運営費	112

第1節 終了の決定

第六波以降、オミクロン株への置き換えに伴い、重症化率や死亡率は大きく低下し、ワクチンや経口治療薬、自己検査薬が普及する中、国では、COVID-19の法令上の類型の見直しに向けた検討が行われ、大阪府においても、国の動きに先立ち、今後の「With コロナ」体制への移行に向けて、段階的な見直しが進められることとなった。

OC4についても、この見直しの一環で、正式に令和5年（2023年）3月31日に運営を終了することが決定した。運営を開始した当初は、重症化率が高い中、大阪府内の重症病床確保数は約200床と少なく、感染拡大期には、重症病床がひっ迫する事態となり、重症患者の医療提供体制の確保が非常に重要となっていた。しかしながら、第五波（令和3年〈2021年〉6月）以降、大阪府内の重症病床はひっ迫した状態にはなく、特に、オミクロン株に変異してからは、重症化率の低下もあり、感染拡大期においても20%を下回る重症病床利用率で推移し、大阪府内の重症病床は充足している状況であった。このように、重症患者の減少や重症病床の確保が進んだことで、当初の役割である重症病床ひっ迫時の患者の受け皿としての役割を終えたとして、運営を終了することとなった。

令和5年（2023年）1月31日「Withコロナ」体制への移行における対策の見直し（第85回対策本部会議資料）6、8～10ページ抜粋



OC4最終日 集合写真

第2節 撤去・原状復旧工事

令和5年（2023年）3月24日に最後の入院患者が転院し、27日から31日にかけて、リース物品以外の機器・備品等を急総センターに引上げるなど、OC4の撤去に向けた準備を行った。4月3日からは、解体撤去工事及び敷地の原状復旧工事（平面駐車場等整備）を開始し、原状復旧後、『臨時医療施設「（仮称）大阪コロナ重症センター」の設置に関する基本協定書』に基づき、府立病院機構に土地を返還した。

年月日	作業内容
令和5年（2023年）3月31日	建物・備品のリース期間終了
4月3日～	医療機器、備品等のリース品撤去
4月10日～	解体撤去・復旧工事
8月31日	急総センター敷地内の原状復旧完了 府立病院機構所有地を返還
～9月30日	急総センター敷地外の排水設備撤去工事 解体撤去・復旧工事完了



▲解体前写真



復旧後駐車場(全体)▶



▲解体前写真



復旧後駐車場▶

第3節 運営費

OC 4の整備・運営にあたり大阪府が支出した費用は次のとおりである。

運営費用

項目	年度			(単位：千円)
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
建物関係	473,156	653,146	620,958	1,747,260
（内訳） 整備費（リース料等）	472,166	651,824	619,736	1,743,726
維持管理費	990	1,322	1,222	3,534
医療機器・施設備品関係	363,745	528,995	421,033	1,313,773
（内訳） 整備費（リース料等）	363,745	528,342	419,470	1,311,557
維持管理費	0	653	1,563	2,216
人員確保関係	670,505	1,773,877	1,646,369	4,090,751
（内訳） 人件費関係（医療機関への補助金等）	637,492	1,567,086	1,411,565	3,616,143
勤務者用ホテル確保料等	33,013	206,791	234,804	474,608
運営管理関係	54,461	158,536	162,400	375,397
（内訳） 施設管理・警備費	50,080	137,751	137,632	325,463
公共料金等	2,872	11,734	16,553	31,159
事務費	1,509	9,051	8,216	18,776
合計	1,561,866	3,114,554	2,850,760	7,527,180



OC 4終わりの会 集合写真